

地域のお宝 再発見!

歴史的・文化的資源を活用した
地域づくりをめざして

2月11日
13:30～16:30

とき 2018年

ところ 倉吉交流プラザ
視聴覚ホール

受講申込受付中
どなたでも受講いただけます。

無料

手話通訳・要約筆記
託児が必要な方は、
2月2日までに
お知らせください。

「鳥取は何もないから～」
という言葉をよく耳にしませんか?
私たちが気づいていないだけで、
実は、鳥取にはたくさんのお宝があります。
お宝のを見つけ方を学び、地域づくりについて
一緒に考えてみましょう!

基調講演 13:35～14:15

まちを歩いて、地域のお宝を探そう!

講師 鳥取県埋蔵文化財センター 所長 なかほら 中原 ひとし 斉氏

実践発表 14:15～15:15

<発表1> 地域に伝わる「ひと・こと・もの」に新しい物語を・・・
～よみがえる中井太一郎の功績と紙芝居づくり～

発表者 倉吉市小鴨公民館 館長 はたの 波田野 しょうじろう 頌二郎氏



中井太一郎を題材とした紙芝居

<発表2> 昔のお座敷芸が今、世界に通用する?

発表者 淀江さんこ節保存会(米子市) 事務局長 おくだ 奥田 あきみ 晃巳氏



淀江さんこ節

トークプレース 15:25～16:25

歴史的・文化的資源を活かしたまちづくり

コーディネーター 鳥取県埋蔵文化財センター 所長 中原 斉氏
メンバー 倉吉市小鴨公民館 館長 波田野 頌二郎氏
淀江さんこ節保存会(米子市) 事務局長 奥田 晃巳氏

宝

申込方法 窓口・電話・FAX・メールで下記にお申込みください。
当日申込みも受付しますが、資料等の準備の関係上、できるだけ事前申込みをお願いします。
手話通訳・要約筆記・託児をご希望の方は、2月2日までにお知らせください。

申込み
問合せ先

主催

〒680-0846 鳥取市扇町21番地

鳥取県立生涯学習センター(県民ふれあい会館)

TEL:0857-21-2331 FAX:0857-21-2267 E-mail:manabi@fureaikaikan.jp

<とっとり県民カレッジ連携講座>



お宝は、身近なところにあります！
お宝の磨き方、活かし方を学んで、
小さな活動から始めてみましょう！

生涯学習のマスコット
マナビィ

ふるさと再発見生涯学習講座（歴史）

地域のお宝再発見!

歴史的・文化的資源を活用した地域づくりをめざして

<日程>
H30
2/11
(日)

13:00 13:30 13:35

14:15

14:45

15:15 15:25

16:25 16:30

受付	開会	【基調講演】 (40分)	【実践発表1】 (30分)	【実践発表2】 (30分)	休憩	【トークプレイス】 (60分)	閉会
----	----	-----------------	------------------	------------------	----	--------------------	----

※時間は予定です。

基調講演

13:35~14:15

演題 まちを歩いて、地域のお宝を探そう!

講師 鳥取県埋蔵文化財センター 所長 なか はら 中原 ひとし 齊氏



今、「まち歩き」が注目されている。新たな視点でまちを歩けば、地域ならではの「お宝」をたくさん見つけることができる。その「お宝」の見つけ方と活用法について事例を交えながら語る。

プロフィール

昭和34年、鳥取県米子市出身。國學院大學文学部史学科卒業（考古学専攻）
鳥取県教育委員会文化財課歴史遺産室長、鳥取県立むきばんだ史跡公園所長をへて、現在、鳥取県埋蔵文化財センター所長
近年は、地域の魅力を再発見する「まちあるき」に取り組み、平成25年から「よどえまご道草日和」を主催
主な著作、『よみがえる金堂壁画—上淀麿寺—』新泉社（平成29年）
共著として、『新修米子市史 第1巻 通史編 原始・古代・中世』（平成15年）、『街道の日本史37 鳥取・米子と隠岐』吉川弘文館（平成17年）、『鳥取県の歴史散歩』山川出版社（平成24年）などがある。

実践発表1

14:15~14:45

宝 ひと・こと・もの



演題 地域に伝わる「ひと・こと・もの」に新しい物語を…
～よみがえる中井太郎の功績と紙芝居づくり～

発表者 倉吉市小鴨公民館 館長 はたの しょうじろう 波田野 頌二郎氏

「中井太郎は、天保元年（1830）小鴨村に生まれ、正条植えと田植え定規を考案。また、除草用の農具を改良して新しい「太一車」を発明し、農作業の軽減を図った」というような公民館講座の学びから「物語」づくりは始まる。みんなの力でよみがえった「物語」は、地域の人たちや子どもたちへと伝えられていく。

プロフィール

平成22年より倉吉市小鴨公民館館長を務める。長年、倉吉市役所に勤め、社会教育課、中央公民館、国民体育大会事務局、企画課、自治振興課、倉吉博物館、市立図書館、水道局などに席を置く。文化行政、公民館活動、広報公聴、水と緑と文化のまちづくり、トイレからのまちづくり、彫刻のあるまちづくりなどにたずさわる。市民活動として、おや子劇場、混声合唱団みお、倉吉文化団体協議会、アザレアのまち音楽祭、県民による第九実行委員会、鳥取県合唱連盟などにかかわる。現在は河本緑石研究会の会長。河本緑石生誕120年の記念事業として、「河本緑石の業績と宮沢賢治とアザレアの仲間たち展」の開催ならびに「河本緑石句集」の出版をこの10月に行った。

実践発表2

14:45~15:15

宝 芸能文化



演題 昔のお座敷芸が今、世界に通用する?

発表者 淀江さんこ節保存会（米子市）
事務局長 おくだ あきみ 奥田 晃巳氏

淀江さんこ節保存会は、年間40回を超える公演を行いながら、地域の小学生、中学生、高校生の指導育成を行っている。

近年、県外や海外からのお客様の前で公演する機会が増え、観て楽しいだけでなく、一緒に踊りに参加してもらえる舞台を作り上げてきた。地域の芸能文化が持つ魅力について語る。

プロフィール

淀江さんこ節は、幕末から明治にかけて、北前船の発達により九州方面から伝わった民謡に、淀江独特の節回しを加え、お座敷芸として一大ブームを巻き起こした庶民芸能である。
平成3年に淀江さんこ節保存会事務局として入会。多数のイベントに出演し、さんこ節の魅力を伝えている。
文化庁芸術文化祭国際公演（東京国立劇場）（平成6年）
愛・地球博「鳥取県の日」公演（愛知万博長久手会場）（平成17年）
雪嶽文化祭公演（韓国江原道束草市）（平成22年）
ひたち秋祭り郷土芸能大祭（茨城県日立市）（平成23年）
ブラジル鳥取県人会創立60周年記念式典公演（サンパウロ市）（平成24年）ほか

トークプレイス

15:25~16:25

演題 歴史的・文化的資源を活かしたまちづくり

コーディネーター 鳥取県埋蔵文化財センター 所長 中原 齊氏
メンバー 倉吉市小鴨公民館 館長 波田野 頌二郎氏
淀江さんこ節保存会（米子市）事務局長 奥田 晃巳氏

見つけた地域の「お宝」をどのように磨き、デザインすれば、活力ある素敵なまちになるのか？
まちづくりのヒントが満載のこのコーナーで、ご一緒に考えてみましょう！

